※令和４年度以降入学生用

学校番号	3034

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	東京書籍　「倫理」						
副教材等	第一学習社「テオーリア　最新倫理資料集」 実教出版「実戦攻略　公共、倫理　大学入試共通テスト問題集」						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

　教科書や資料集を読むことを大切にします。そこで学んだ知識と、みなさんの考えを合わせて、これまで考えもしなかったことに気づき、新たな人生のテーマや課題を見つけてほしいと思います。そのためには、教科書以外の本を読んだり、周りの人と交流することを求めたりします。

２　学習の到達目標

・これからの人生で向き合う様々な問いに立ち向かうための基礎的知識を有する。
・答えの定まらない諸課題に対して、協働してとりくむことができるか。その態度とコミュニケーション力を身に付ける。
・授業で取り上げる事柄について自分事として考えることができる想像力を育む。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間としての在り方、生き方についての見方・考え方を探究する基礎となる知識を習得しているか。それは、倫理、哲学、宗教などの多様な観点から人生を見つめるうえで必要となる。	生命、自然、科学技術、福祉、文化と宗教、平和など、解が一つに定まらない現代の倫理的な諸課題を探究するために、自ら「問い」を設定し、他者と協働して取り組むことができるか。これは、新たな価値を生み出すために必要なプロセスである。	授業で取り上げる事柄、先哲の言葉など、自分事として捉えようとしているか。これは、これからの人生において学ぶ力の基礎となる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第１章　人間の心のあり方 ①人間とは何か ②人間の心の動き 第2章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ ①哲学すること ②ギリシャの思想 ③宗教と社会 ④キリスト教	a:青年期の課題や認知、感情、個性、発達各分野の心理学について理解している。その際、精神分析学的視点だけでなく各分野にわたり多様な知識を有している。 併せて、心理学の科学性に焦点を当て、研究法についても理解している。 哲学が誕生する背景やギリシャ三哲、ヘレニズム文化について理解している。 宗教とは何かについて、キリスト教の知識を踏まえて理解している。 b:倫理で学ぶ事柄について本質観取しようと努め、自分とは異なる意見など多面的に考察することができる。一方で、「自分」とは、「宗教」とは何かという根源的な問いについては、自らの経験を踏まえ、考察することができる。 c:真善美や人間とは何かなど、これまで考えたことのない難題と向き合う際の、柔軟かつ粘り強い態度を養っている。	定期考査	定期考査 振り返りカード	振り返りカード

※令和４年度以降入学生用

		第2章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ ⑤イスラーム ⑥仏教 ⑦中国の思想 ⑧芸術 第３章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ ①近代と人間尊重の精神 ②近代思想の展開 ③人格の尊厳と人倫の思想 ④社会変革の思想	a:キリスト教、イスラーム、仏教の差異だけではなく、「宗教」自体がもつ働きについて理解している。 多様な中国思想を理解するだけではなく、日本にも強い影響を与えた点についても理解している。 これまでに学んだ東洋の思想、宗教と比較することによって、理性や科学という近代につながる概念について理解している。 b:いかに生きるべきかという問いについて、宗教的視点からも考察することができている。異なる宗教を比較し、自分に合った考えについて、何を取り入れるべきか自分なりの答えを見出すことができている。 また、今日の現代社会の基盤となる西洋思想について、特に科学的思考について理解し、帰納法や演繹法に沿って、物事を考えることができている。また、義務論といった今日でも多様な意見が飛び交う問題についても、原典資料から自らの考えを構築することができる。 c:各宗教の経典や西洋の名著の一部を読み、これからの人生において、資料を読む必要性につい理解し、知的好奇心を持つことができる。	定期考査	定期考査 振り返りカード レポート課題	振り返りカード

※令和４年度以降入学生用

二学期	現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	第３章 さまざまな人生観･倫理観･世界観Ⅱ ⑤理性への疑念 ⑥人間観・言語観の問いなおし ⑦他者と自然とのかかわり	a:実存主義の思想家の難解な思想に触れたり、現代思想の多様性を学んだりすることで、現代社会や自らに関する問題をどのように捉えるか、考える知識的基盤を有している。 b：批判的視点をもち、現代の諸課題につながる考え（理性主義への反発等）を持つことができている。アーレントやハーバーマスなどの思想を参考に公共的問題を捉えることができている。 以上のことを踏まえた上で、自らの考えを言語化することができる。 c:前節で学んだ人間の合理性について疑義を投げかけながら、学ぶことができている。	定期考査	定期考査 振り返りカード レポート課題	振り返りカード

※令和４年度以降入学生用

		第 4 章　国際社会に生きる日本人としての自覚 ①日本の精神風土 ②仏教と日本人の思想形成 ③儒教と日本人の思想形成 ④国学の思想 ⑤庶民の思想 ⑥西洋思想と日本人の近代化 ⑦国際社会に生きる日本人の自覚	a:日本思想に通底している世界観と、それを基礎として成立した日本の仏教文化について理解している。また、江戸時代には仏教以外にも儒教や国学が花開いたことについても理解し、西洋的思考だけではなく、東洋的思考、日本の伝統的な考え方についても理解を深めている。近代化における、日本社会の思想的混乱期を経て、人々が啓蒙されていく過程を理解することができている。 b:今日の私たちの基礎となっているのは西洋的思想だけではなく、古より続く日本の伝統的価値観であるということに思いを巡らせ、その比較をすることで、自分に合う思考スタイルについて考察することができている。 仏教、儒教、国学などの異なる思想が日本の思想史においてどのような役割を果たしてきたのか、歴史的背景を踏まえながら考察することができる。 明治からの近代化、啓蒙、日本的哲学の成立により、今の私たちの思考が精緻化していることを理解し、その延長線上に「今」があることを、多様な思想から感じ取ることができている。 c:西洋哲学だけでなく、日本思想、東洋思想についても心を開き、広く、深く、様々な思考を吸収しようとする態度が養われている。	定期考査	定期考査 振り返りカード レポート課題	振り返りカード

※令和４年度以降入学生用

三学期	現代の諸課題と倫理	①生命 ②自然 ③科学技術 ④福祉 ⑤文化と宗教 ⑥戦争と平和	a:様々な意見や解決策について単純に知るだけではなく、その考えを支えているメカニズムを知り、その背景にある思想や価値観まで把握することができる。 また、その際にこれまで学んだ思想について言及し、用語などを適切に活用することができている。 b:これまで学んだ思想を用いて、生徒個人が自分の意見をしっかりと持ち、実効性をもって各種の課題について考察を深めることができる。また、その解決方法について論理性をもって言語化することができている。 c:倫理の最終単元に位置付けられているので、これまでの学びを総括することが必要である。そのため、これまで学んだ知識を不活性のままにせず、活用しようと意識している。	定期考査	定期考査 振り返りカード	振り返りカード

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度